



涼しい秋風が心地よく感じる今日この頃。だんだんと寒く感じる日も増え、冬の訪れを感じる季節となりました。今年はインフルエンザやコロナウイルスの流行が早いようなので、これから冬本番に向けて気をつけていきたいところですね！！

4月に入園・進級してから半年が過ぎ、あんず組では4月に比べ出来ることがたっくさん増えました♪靴を一人で履けるようになってきている子。トイレの便座に座ってみる子。排せつがかったことを教えてくれる子。お着替えを自分でしようと頑張る姿が見られています。保護者の皆さんが日々書いてくださるノートにも、「〇〇ができるようになって成長を感じました」「友達の名前が言えるようになりました」等のお話があり、沢山の出来るようになったこと、成長を感じうれしく思っています♡
今月はそんな子どもたちの【友だちとの関わり】についてお伝え出来たらと思います♪

前述にもあるようにたくさん成長しているあんず組さん。4月は1人遊びの多かった子どもたちも、周りの大人や友だちに興味を持ち始め、一緒に遊ぶ姿が見られるようになってきました。友だちが楽しく遊んでいる様子を見ると、「何してるの?」「一緒にやろ」「入れて」と声をかけてみたり、絵本を見ながら「これは〇〇!」「〇〇いる!」などとお話することもあります。

まだ、「1人でやりたい!」という気持ちもある時期なので、大人が「〇〇してるから待ってほしいんだって」「終わったら貸してってしてみようか」などと声をかけると、「順番こ!」「待っててね~」等と話しながらそばに座って待っていてくれる姿もあります😊帰ってきた返事が思っていたのと違って泣いてしまったり、気持ちの整理がつかず怒ってしまうこともあります。そんな時は周りのお友だちが悲しんでいる子に気が付き、「大丈夫?」と声をかけたり、頭をなでる、おもちゃをそっと持ってきてくれることでみんなが笑顔になることもあります♪



関わりが増える中で、まだまだ《言葉》で伝えることは難しい年齢です。上記の出来事は言葉で関わられた一例で、自我が芽生えてきたことで「〇〇がやりたい」「この気持ちをどうしたらいいかわからない!」「上手く言葉にできないよ!」という時もあります。そんな中で〈叩く〉〈噛む〉〈押す〉等の行動に繋がることもあります。言葉で伝えることが難しい時には、1人1人の発達段階に合わせ、「〇〇したかったんだね」「貸してって言うんだよ」等、気持ちを受け止めながら、やりたかったことを簡単な言葉で代弁し伝えています。トラブルがあった時には双方の気持ちを受け止めつつ、してはいけない事・〈叩く等〉をしたら痛いこと・悲しいことを伝え、言葉で伝えられるよう繰り返し知らせています。

1人遊びは自分で考え・創造したり、集中力を高めたり、自分自身を理解する力をつけていく大切な時間でもあります。関わりが増えている中でもまだ1人で遊びたい時もあるため、1人1人の遊べる場所や空間の確保をし、十分に遊んで満足できるよう配慮しています。

日々の生活を通して様々な場面で友だちとの関わり方を知り、学びを積み重ねていきます。その中で安心して過ごせるように子どもたちの気持ちに寄り添いながら関わり、友だちと遊ぶ楽しさや言葉で伝えられる嬉しさを感じられるようにしていきたいと思えます♪

